

新日軽ポスト 取付・取扱説明書

取説番号

ME-1103
改1

—KS-1型 (埋込・ポール建て兼用)—

—KS-1D型 (埋込・ポール建て兼用・インターホン子機内蔵)—

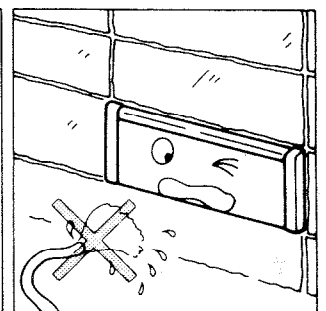
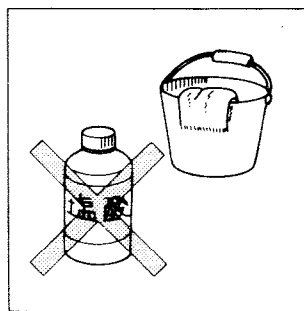
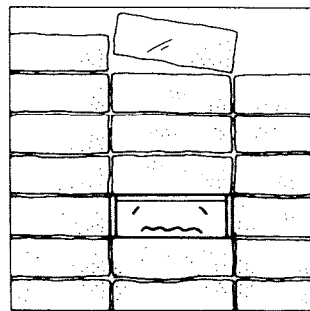
—OS-1型 (口金型)—

- このたびは、新日軽ポストをお買いあげいただきありがとうございました。
- 正しく施工・御使用いただくため、必ず取付・取扱説明書をお読み下さい。

■施工上の注意点

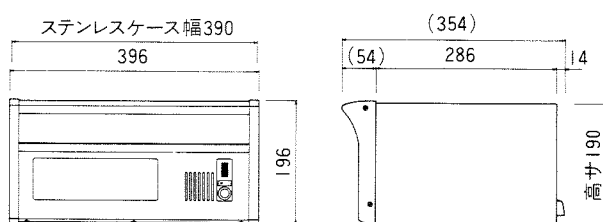
1. 取り付け場所が通行の妨げにならないか確認してください。
2. ポスト上部にあまり多くのブロックを積まないでください。(3段程度迄)
3. 水平出しを行ってください。
4. サビの原因となりますので、ポスト本体を塩酸などの酸類で洗わないでください。又、リシン等の塗料がかからないようにしてください。
5. ポスト前面に、ホース等で直接水をかけないでください。(インターホンの故障原因となります)
6. 電装商品の場合には、配線工事を有資格の専門者にご依頼ください。
7. インターホン子機に100V電源を結線しないでください。
8. インターホン子機との接続線、電線管、スイッチボックス及びAC100V入力線は、お客様にてご用意ください。(インターホン親機との接続線は距離により異なりますので下図を参考にしてください。)

配線距離	使用電線
30m以内	0.9φ
50m以内	1.2φ
50m以上	2.0φ

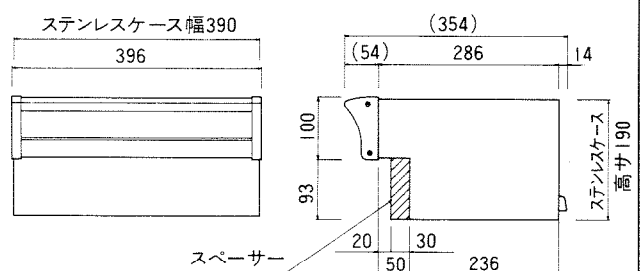


■概略図

●図はKS-1D型



●図はOS-1型



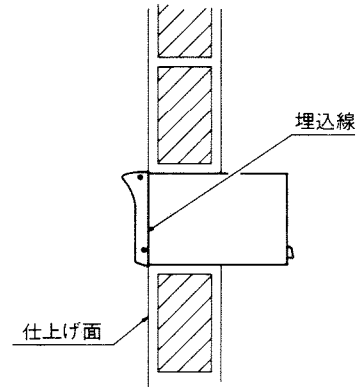
■施工方法

●壁面に埋込む場合

1. ポストの外形寸法より1~2cm大きめの穴を門柱や堀の取付け部分にあけてください。
ブロックが芯材に使われている場合には、ポストをブロックと一緒に積んでゆきます。
2. 口金型は、仕上げ面の仕様によるモルタルの盛りつけ厚みをスペーサー(厚み3cm、取り外し自由)により調整してください。
3. 図の様に仕上げ面がポスト全面部の埋め込み線よりはみ出ないように前後方向の位置決めを行ってください。
4. モルタルで化粧仕上げをする場合には、仕上げ代を計算に入れてください。
5. 水平出しを行ってください。
6. ポスト周囲をモルタルやコーキング剤で仕上げてポストを固定してください。

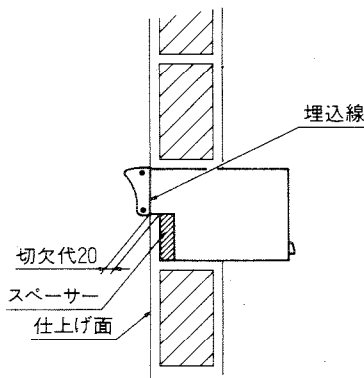
※照明付ポストについては、電球管の取り替えの為正面パネルを取り外しますので、正面パネルにモルタルやコーキング剤が付着しないよう特にご注意ください。

●埋め込みタイプ

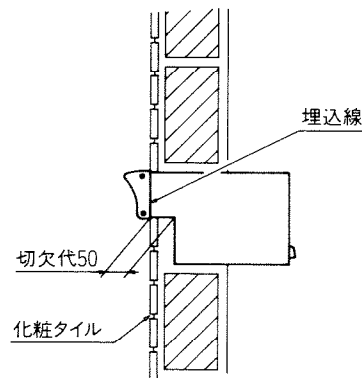


●口金タイプ

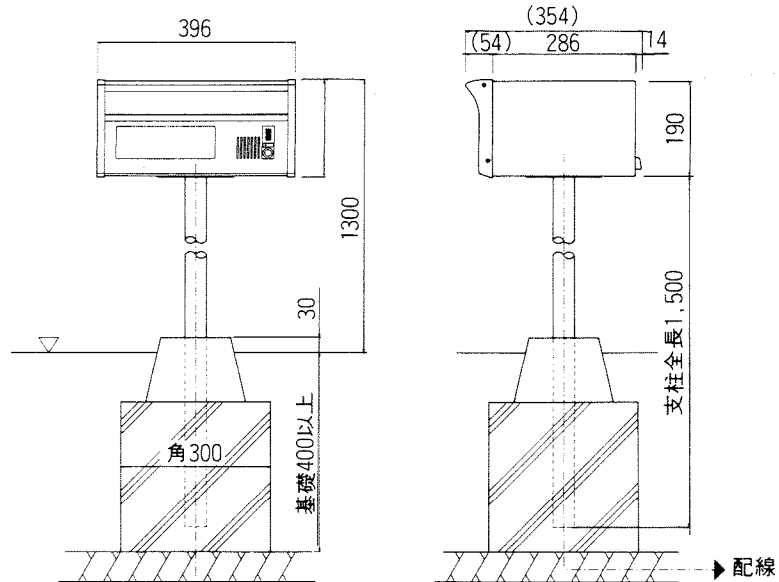
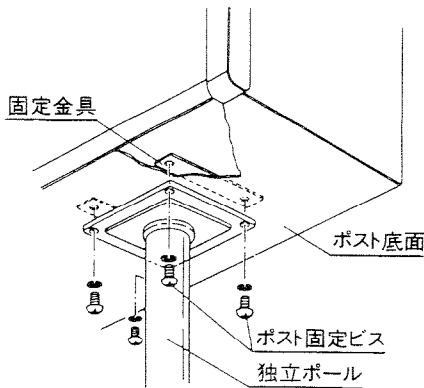
モルタル仕上げの場合



化粧タイル仕上げの場合



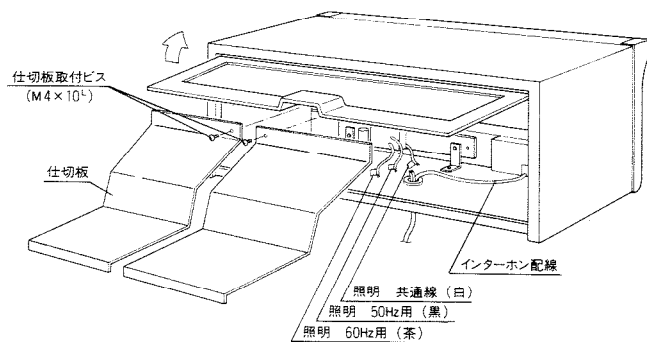
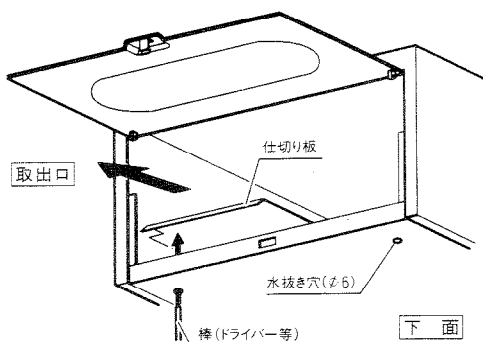
●ポール建ての場合 (ポールは、別売のSP-40をご使用ください。)



■インターホン・表札照明の配線

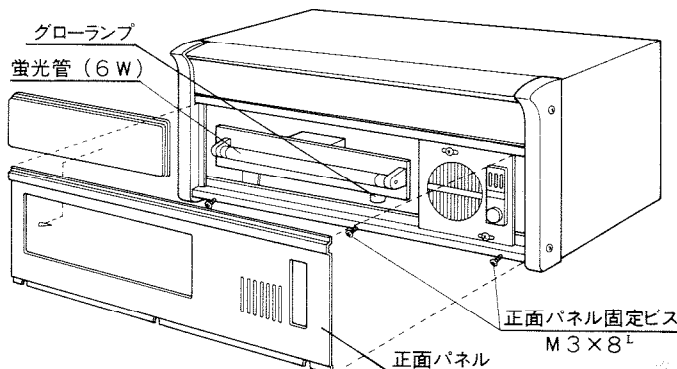
(・インターホン親機は市販品をお使い下さい。
・インターホン子機はIE-JA(アイホン製)です。)

1. 仕切板取付ビスを取りはずしてください。
2. ポスト本体より仕切板を取りはずしてください。(下面の水抜き穴から仕切板を突き上げてください。)
3. インターホン及び、照明の配線を行ってください。
4. 照明の配線は、50Hz/60Hzを確認の上行い、使用しない線は必ずテーピング等の絶縁処理をしてください。



■表札板の取り外し・蛍光管/グローランプの取り替え

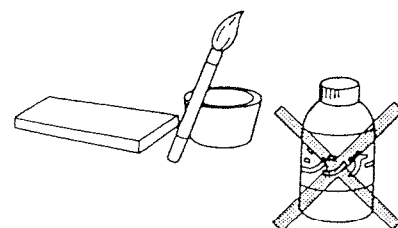
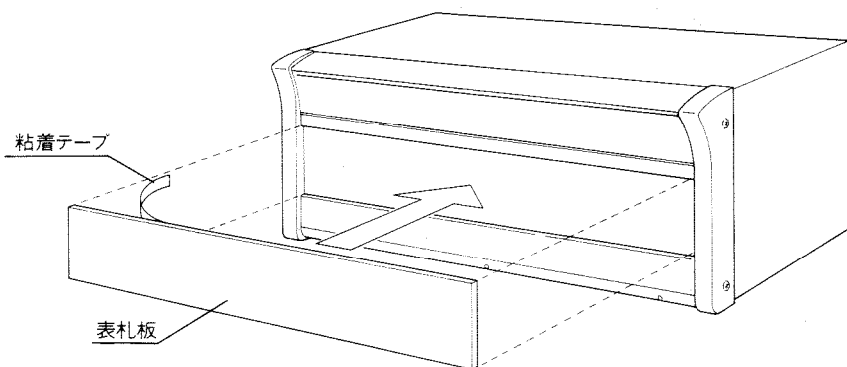
1. 正面パネル固定ビス(3本)をゆるめてください。
2. 正面パネルを下から手前に引き出すようにしてはってください。
3. この状態で前面より表札板・蛍光管・グローランプを取りはずすことができます。



注) 蛍光管/グローランプの取り替え時には感電の恐れがありますので、必ず電源を切ってから行ってください。

●図は、KS-1D型

■表札板の張り付け・文字記入



- 市販品のエナメルインク等で文字を記入してください。
- ※シンナー等は、表札板をおかしますので使用しないでください。

■お客様へ

■ご使用上の注意点

ポストは郵便物や新聞等を受け入れるものです。その他の目的に使用しないでください。

【注意】

- 投函物を取り出す際は手や指に注意してください。
- 取り出し側は、ブロックより飛び出しておりますのでご注意ください。(頭や体等をぶつけるおそれがあります)
- 投函口にむやみに手や棒を差し込まないでください。(手をケガしたり、ポストが破損するおそれがあります。)
- 投函物を取り出す際は、ウラブタを静かに開閉してください。(破損の原因になります)
- ポスト前面に、ホース等で直接水をかけないでください。(インターホンの故障原因となります。)

■お手入れ方法

〔アルミニウム〕

- 柔らかい布やスポンジで水ぶきまたは、水洗いをし、その後からぶきしてください。
- 汚れがひどい場合には中性洗剤を薄めた液で汚れを落した後、洗剤が残らぬよう、よく水洗いをしふきとってください。

【注意】

- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、シンナー、ベンジン等は腐食の原因となるため使用しないでください。
- 金属ブラシ、スチールウールなどはアルミ表面をいためるため使用しないでください。

〔ステンレス〕

ステンレスは一般的にサビないというイメージが強いですが、土・砂・鉄分・排気ガス・潮風に含まれた塩分など、使用条件や環境によっては汚れることや付着物によってサビが発生します。

〈軽い汚れの場合〉

- 柔らかい布やスポンジで水ぶきまたは、水洗いをし、その後からぶきしてください。

〈手あかや指紋などの汚れの場合〉

- 柔らかい布または、スポンジなどに中性洗剤をつけてぶき取ってください。きれいにとれない場合は市販のステンレス専用清掃液か、有機溶剤(アルコール、ベンジン、アセトン)を部分的に試して、汚れの落ち具合を確認してから使用してください。その後、洗剤や液が残らないように水洗い後、十分からぶきしてください。

〈潮風や鉄粉などでサビた場合〉

- 布、スポンジまたはステンレスたわしに中性洗剤をつけてぶき取ってください。きれいに除去できない場合は、市販のステンレス清掃液やみがき粉(300メッシュ)、炭酸カルシウム(200メッシュ以下)などでこすり取ってください。その後、洗剤や液が残らないように水洗い後、十分からぶきしてください。

【注意】

- 目の粗いクレンザー、サンドペーパー、スチールウールなどは使用しないでください。
- 薬液を使用する場合は、あらかじめ部分的に、“ためしぶき”をして、汚れやサビの落ち具合を確認してください。
- スポンジ、ステンレスたわしなどは、ステンレスの研磨目にそって使用してください。
- 洗剤、薬液を使用した場合は、必ず十分水洗いをし、洗剤・薬液を落してからからぶきしてください。

98.10改訂



新日軽株式会社

本社・〒135-0042 東京都江東区木場2-7-23(第一ビル)

札幌支店 011・717・4411

東関東支店 043・247・1251

岡山支店 086・243・1243

仙台支店 022・297・3371

東京支店 03・3820・2451

高松支店 087・833・7611

新潟支店 025・283・6681

横浜支店 045・641・2131

広島支店 082・242・2632

北陸支店 0762・37・0122

静岡支店 054・254・1271

福岡支店 092・712・0961

北関東支店 0273・28・2881

名古屋支店 052・731・1911

東日本エクステリア支店 03・3820・2287

埼玉支店 048・684・8680

大阪支店 06・390・1313

西日本エクステリア支店 06・380・9275